



京都国立近代美術館

友の会ニュース

2008 NOVEMBER NO. 4

現代美術への視点シリーズ「エモーショナル・ドローイング」展が始まります！

ドローイングは、元来は「線を引く」という非常にシンプルな行為を指します。この技法によって、作品を制作するアジア、中東出身の作家16名(組)による現代美術の展覧会が2008年11月18日(火)から開催されます。この技法の特徴は、完成を重視せず、その過程を大切にし、多くの場合、複数のイメージによって1つの作品が構成される点です。またこの技法は、

鉛筆、木炭、墨、水彩などの描画材料や、映像やインスタレーションなどの展示形態において、多様な展開を見せます。

各作家が、それぞれに最適な方法を選択し、主に手書きによって制作された作品は、作家の個性を強調し、個人の内面を率直に表現していると言えます。そしてイメージの集合は、複雑な感情を表現すると思われれます。



奈良美智+grafによるアトリエを再現した小屋の内部(部分)

本展覧会は、このドローイングの技法が、作品のための下図やエスキースではなく、自律した独自の表現であると捉え、描く行為の多様性と、現代を反映した作品を肌で感じる機会となるでしょう。

この企画展の関連イベントとして、実際にドローイングを描く取り組みを実施します。音や動く対象をテーマに、想起されたイメージを木炭で描く小学生対象の回と、他者のイメージと自分のイメージをつないで墨による大きな絵を完成させる中学生対象の回の2回(各回15名程度)を予定しています。「友の会」との連動企画として、描く体験を通してドローイングを知るワークショップを開催します。

〈「エモーショナル・ドローイング」展関連イベント「ドローイング・ワークショップ」〉

日時:2008年12月0日(土)

場所:京都国立近代美術館 1階・講演室、3階・企画展示室

定員:5名(先着順、参加費無料、会員ご本人のみ)

申込〆切:2008年11月0日(木)

申込先:京都国立近代美術館 庶務課庶務係 075-761-4111(代)

※当日は午〇時〇分に1階・講演室に集合してください。



東京国立近代美術館の会場で製作中のジュリアオ&マニュエル・オカンボ



レイコイケムラ シリーズ「波風存在」より 2004年 ©the artist

The National Museum of Modern Art, Kyoto



〈上野伊三郎・リチ コレクション新収蔵記念「ウィーンから京都へ、建築から工芸へ」展 解説会〉

2009年1月6日(火)から2月8日(日)まで開催される「上野伊三郎・リチ コレクション展」の会期中、「友の会」会員の皆さまを対象に、未公開資料をまえにしながら、現代との対比という視点から、この展覧会についてお話いたします。上野伊三郎は建築家で、ブルーノ・タウトを日本に招いた張本人として有名で、1927年に京都で唯一の建築運動といえる「日本インターナショナル建築会」を立ち上げました。ウィーン工房で学んだリチと結婚し、夫婦そろって現在の京都市立芸術大学の教授となるなど、そのふたりの活動を初めて紹介する展覧会ですが、今回出品する作品群は、2006年にこれも上野負債によって創設された現インターアクト美術学校から、一括寄贈いただいたもので、上野伊三郎の建築図面をはじめ、リチの七宝による宝石箱やテキスタイル作品など、代表作が並びます。この知られざるふたりの足跡について、様々な角度から光をあててお話いたします。

日時:2008年1月24日(土)午後2時～

場所:京都国立近代美術館 1階・講演室、3階企画展示室

参加費:無料

申込〆切:2009年1月23日(金)

申込先:京都国立近代美術館庶務課庶務係 075-761-1111

(上野伊三郎(左)とリチ)



旧島津邸(現バプテスト病院)



クリスマスコンサートが開催されます。

毎年恒例の京都市立芸術大学との共催による「クリスマスコンサート」が開催されます。

演奏:京都市立芸術大学音楽学部・大学院生

日時:2008年12月20日(土)午後6時開演(予定)、参加費無料

場所:京都国立近代美術館・1階ホワイエ

※詳細は後日チラシにてお知らせいたします。

活動報告

「インターナショナル・アーツ&クラフツ」解説会

「インターナショナル・アーツ&クラフツ」展会期中の10月24日(金)午後5時から、「友の会」会員の方々への「解説会」を開催しました。担当学芸員の詳細な解説のもと、展示室をまわり、再現された「三国荘」の室内に実際に上がり、調度品も含めた細部まで行き届いた内装を体験する機会になりました。



三国荘の模型を鑑賞する「友の会」会員の皆さん

第1回「京都学」散策ツアー実施

2009年6月9日(火)～7月20日(月・祝)に開催される京都新聞創刊130年記念 京都学「前衛都市・モダニズムの京都」展に先立ち、第1回目の見学会として、岡崎界限を散策しました。このような見学会や講座は、当企画展開催までの期間に複数回予定されています。今後是非、ご期待ください。